

## 年頭のご挨拶

理事長 氏田 公基

会員の皆様、そして、友の会をご支援いただいている皆様、新年あけましておめでとうございます。

2024年は元旦に発生した能登半島地震による大災害、9月の能登半島を襲った大水害など、大きな災害に見舞われた年でした。被害にあわれた方々にお見舞いを申し上げます。また、一昨年に続いて、暑い暑い夏が長く続き、秋らしい秋もほとんどないまま冬季に入った、そんな1年だったように思います。異常気象で一括りにすればそれまでですが、過ごしにくい年だったように思っています。

さて、当会の2024年度の活動は、会員各位のご協力をいただきながら順調に進めることができました。大勢の参加をいただき恒例となっている「お茶を楽しむ会」、開催回数を増やした「資料館周辺施設巡り」に始まり、毎年好評を得ている「水辺の生き物観察会」、会員の河川探求のための「県内河川探訪～新潟県砂防発祥の地と親鸞ゆかりの地巡り～」「県外河川探訪～姫川源流と黒部ダムを巡る旅～」や「大河津改修現場見学会」、発信の場である「友の会講演会」などなどがその一例です。

一方、5月には国土交通省から『流域治水オフィシャルサポーター』に認定していただき、「流域治水」を支援する活動を行うこととしましたし、8月には「信濃川大河津資料館を拠点とした地域活性化の取組」をご評価いただき、内閣府特命担当大臣と国土交通大臣から『NIPPON防災資産』の認定もいただき、災害リスクの自分事化の啓発にも取り組んでいくこととしました。

2025年は、従来から継続している活動と、新たに取り組むこととした活動の融合・発展のために、引き続き、関係機関のご理解とご支援をいただきつつ、多くの会員・非会員のお力添えのもと、信濃川大河津資料館友の会を盛り上げていかなければと考えています。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



## イベント報告

### ～県内河川探訪 『新潟県砂防発祥の地と親鸞ゆかりの地巡り』～

○日時: 令和6年10月7日(月) 8:30～16:35

○参加者: 23名

○行程: 大川津ふれあいセンター → 地すべり資料館(上越市) → 万内川砂防堰堤群(妙高市) → 昼食(和味旬彩 藤作別館) → 五智歴史の里会館～居多神社～五智国分寺～国府別院(上越市) → 食と農のテーマパークあるんの杜(上越市) → 大川津ふれあいセンター

今年は上越方面の地すべり対策の砂防堰堤や親鸞ゆかりの神社仏閣などを巡りました。

上越地方は地質的に新しく柔らかい層が広く分布し、雪解け期間が長いことから、日本一の地すべり多発地帯と言われ、この地域は古くから地すべり被害に悩まされていたそうです。その歴史や地すべり対策について、妙高砂防事務所の職員の方から地すべり資料館と万内川砂防堰堤群をご案内いただき学びました。午後からは親鸞ゆかりの地を五智歴史の里観光ボランティアガイドの方々から各地をご案内いただきました。丁寧に説明していただいたのですが、天候が悪く雨風がひどくて見学どころではない状況になってしまいました。非常に心残りです。残念！



地すべり資料館



万内川砂防公園



親鸞上人上陸の地  
(居多ヶ浜)



五智国分寺

## ～大河津改修現場見学会～

○日時:令和6年10月15日(火) 13:30～15:50

○参加者:17名

○行程:信濃川大河津資料館(集合) → にとこみえ～る館 → 新第二床固工事現場 → 山地部掘削現場 → 信濃川大河津資料館(解散)

信濃川河川事務所の職員の方々からご案内いただき、「令和の大改修」の現場へ見学に行ってきました。まず初めに改修事業の情報発信基地「にとこみえ～る館」で改修事業の内容の動画を視聴し、館内の見学した後、現場をご案内いただきました。次に新第二床固現場を見学しました。施工業者の方の指示のもと、分水路に架けられている仮栈橋の上を渡り、施工中の新第二床固真上に行きました。3年ぶりに見る仮栈橋からの現場はかなり工事が進んでいることが分かりました。ご説明の後、特別に集合写真を撮影させていただきました。次に向かったのは山地部掘削現場です。そこはいくつものバックホウが稼働し山を削っていました。そのうちのひとつは無人で動いていました。詳しく説明いただくと、新潟市の会社にあるコックピットから遠隔操作で動かしているそうです。こちらの現場画面モニターには操縦している女性社員の方が映っていました。まるで近未来映画のような光景を目の当たりにし驚きました。なかなか見学できないところを見させていただけることに感謝です。今回ご協力いただいた、信濃川河川事務所の方々、施工業者の方々、ありがとうございました。



## ～第3回ガイド研修～

○日時:令和6年11月5日(火) 8:20～15:20

○参加者:16名

○行程:大川津ふれあいセンター～燕市民交流センター～西蒲区役所西川出張所(参加者乗車) → 山の下閘門排水機場 → 道の駅あがの(昼食) → 北方文化博物館 → 燕市民交流センター～西蒲区役所西川出張所～大川津ふれあいセンター(参加者降車)



資料館運営員の皆さんと新潟市の排水機場と歴史を学ぶガイド研修へ行ってきました。新潟市は川の水面より低い土地が多いため、雨が降ると自然の力では排水できないので、ポンプ場によって溜まった水を排水して維持しています。今回は山の下排水機場を職員の方から説明いただきながら見学し、機能と施設を学びました。行ってみたいと思っていたけど個人で来る機会がないので、研修で見学できてとても良かったという声をいただきました。その後訪れた北方文化博物館では、館内ガイドの方から豪農 伊藤家の歴史や大邸宅、庭園等を案内いただきました。今回の研修でガイドとしての知識を深めることができました。

## ～NPO法人信濃川大河津資料館友の会講演会～

○日時:令和6年11月30日(土) 13:45～16:05

○参加者:65名

○会場:燕市分水公民館 大ホール

○講師:木村 勲様 (国土交通省北陸地方整備局 河川部長)

演題 『北陸地方の治水行政に関する取り組み』

講師:金内 正文様 (新潟地方気象台 防災管理官)

演題 『最新の気象と地震のはなし』



木村 勲 様



金内 正文 様

令和6年1月1日から大きな地震が能登半島を襲い、畳みかけるように9月に豪雨により甚大な被害が発生しました。災害が多発する中で、木村様から能登半島地震・豪雨への対応、流域治水の重要性をご講演いただきました。被害の大きさを改めて実感し、いつ起こるか分からない災害に対する防災・減災が重要であることを再確認しました。その災害が発生する理由のひとつに地球温暖化や異常気象の影響があります。気象の専門家の金内様からは最新の気象と地震についてご講演いただきました。今地球で何が起きているのか様々なデータを見ながら解説していただきました。頻繁に発生している地震もいつどこで大地震が起きてもおかしくないため、日ごろの備えが重要ということをお教えいただきました。

## ～第2回理事会～

- 日時:令和6年12月7日(土) 13:15～14:30
- 参加者:16名
- 場所:信濃川大河津資料館2階多目的ホール



今年度2回目の理事会を開催し、以下の内容を審議しました。

- 【議事1】 令和6年度事業及び会計中間報告について
- 【議事2】 令和7年度事業計画(素案)について
- 【議事3】 その他

- (1)「令和6年度信濃川大河津資料館管理補助業務」の実施状況
- (2)常任理事会の開催状況
- (3)事務局員・業務担当者等の令和7年度時間当たり単価の見直し
- (4)時期役員の改選について
- (5)「流域治水オフィシャルサポーター」の認定
- (6)「NIPPON防災資産」の認定
- (7)その他

## ～河川文化講演会『元館長 五百川 清さんを偲ぶ会』～

- 日時:令和6年12月7日(土) 15:00～16:30
- 参加者:21名
- 会場:信濃川大河津資料館2階多目的ホール

信濃川大河津資料館の館長を約5年務め、「大河津分水双書」全10巻を編集・執筆され、友の会の前身団体「大河津分水資料館を見守る会」設立メンバーでもあった名誉会員 五百川 清さんを偲んで、関わりの深かった4名の方から五百川さんとのエピソードを披露していただきました。初めに1分間の黙祷をした後、樋口 勲さん、野原 永吉さん、清水 保さん、田部 成幸さんから楽しかったことや苦労したこと等の思い出話をしていただきました。その後、参加された皆さんからも「あんなことや、こんなこともありました」とお話ししていただきました。五百川さんほどの大河津分水と郷土愛に満ちた方がいたからこそ、たくさんの方々はその想いが受け継がれているのだと分かりました。これからも五百川元館長に恥じないよう大河津分水の歴史や大切さを伝えていこうと思いました。



## ～信濃川教養講座『ひょうたんクラフト講座』～



- 日時:令和6年12月8日(日) 14:00～15:00
- 参加者:16名
- 会場:信濃川大河津資料館2階多目的ホール
- 講師:坂井 清孝さん(会員)

例年開催している「友の会作品展」に出品して下さった坂井さんの作品がステキだったので、今回の講座の講師をお願いしました。季節的にクリスマス向けにお子さんと一緒に簡単に作れるということで、親子連れの方が多かったです。小さなひょうたんをデコレーションして、雪ダルマや動物、ドラえもんにしたり、松ぼっくりをクリスマスツリーのように飾りつけしたりと、工夫しながら作りました。特にお子さんたちは想像力が豊かで、大人では思いつかないようなデコレーションをしているところが面白かったです。ひょうたんに穴を開ける作業は先生が行ってくれるので、模様を付けることもできました。ひょうたんという素材はあまり手に入らないので、皆さん喜んでくださいました。そして年齢関係なく、参加者同士交流しながら楽しんでいただけたのが嬉しかったです。



友の会会員作品展

毎年恒例の友の会会員による作品展を開催します。会員の皆さんから自慢の作品を出品していただき、期間限定で開催しますので、ぜひ資料館にお越しください。期間中、ギャラリーカフェを2日間限定で開きますので、こちらもお気軽にお越しください。(事務局)

【作品展期間】

◇日 時:令和7年2月1日(土)~3月16日(日) 9:00~16:00

◇参加費:無料

◇会 場:信濃川大河津資料館2階企画展示スペース

【ギャラリーカフェ】(会員のみ)

◇日 時:令和7年2月19日(水)・3月16日(日)ともに9:00~16:00

◇参加費:無料

◇会 場:信濃川大河津資料館2階多目的ホール

作品をご覧いただいた後、お茶を飲みながらゆっくり、おくつろぎください。



← ↓ 昨年度の作品展



作品展に出品していただける方、募集中です!! 趣味で作製している絵や書、手芸や焼き物など、種類は問いません。出品いただける方は、事務局(080-9876-3683)へご連絡ください。お待ちしております。

信濃川教養講座  
~かぎ針で作るお花のブローチ講座~

昨年の編み物講座で講師をしていただいた会員の中山アイさんから、かぎ針で編むお花のブローチを教えてください。編み物を少しでも経験した方なら、簡単に作ることができます。好きな色の毛糸を選んでいただき、自分好みの可愛いブローチを作れるので、興味がある方は是非ご参加ください。お申込みは事務局へご連絡ください。(事業部)

◇日 時:令和7年3月2日(日) 13:30~15:00

◇参加費:無料

◇持ち物:かぎ針をお持ちの方はご持参ください。

◇定 員:10名

◇会 場:信濃川大河津資料館2階多目的ホール

◇申込締切:2月28日(金)

※定員なり次第締め切ります。



毛糸の色によって  
印象が変わります



着用イメージ

信濃川教養講座  
~コインケース講座~

作品展に革小物を出品していただいている会員の中山圭さんに、初心者でも簡単に作れる革製品を講座で教えていただけないかとお願いをしたところ、快く引き受けていただきました。今回教えていただくのは、三角形のコインケースです。革製品を手作りできる貴重な講座ですので、作ってみたいという方は是非ご参加ください。お申込みは事務局へご連絡ください。(事業部)

◇日 時:令和7年3月16日(日) 13:30~15:00

◇参加費:会員は無料(会員以外の方は材料費500円)

◇持ち物:無し

◇定 員:10名

◇会 場:信濃川大河津資料館2階多目的ホール

◇申込締切:3月14日(金)

※定員なり次第締め切ります。



ボタンが2か所あり、どちらからでも取り出すことができます



河川協力団体



流域治水

流域治水オフィシャル  
サポーター



NIPPON  
防災資産

随時  
募集中

友の会会員の皆様へ

資料館ガイドを一緒にしませんか?

資料館に来られたお客様に大河津分水の魅力を伝えるガイドをしてみませんか?大河津分水について学びながら、一緒に盛り上げていただける方を大募集しています。未経験の方でも大丈夫です。研修をしながら徐々に慣れていただきます。ちょっとでも興味がある方は事務局へご連絡ください。1回/月から調整させていただきます。

【事務局連絡先】

〒959-0123 燕市大川津1215-7

【TEL】080-9876-3683(事務局)

【FAX】0256-97-3682

【Mail】ohkouzu\_tomonokai@yahoo.co.jp

【ホームページ】https://ohkouzu-tomo.org/

【Facebook】

https://www.facebook.com/ohkouzuTOMO/



友の会HP